

OB 会費タスクチーム（平野、阿見、柳原）

AIUOB 会費の方向性（5月20日理事会検討資料）

この資料は OB 会費タスクチーム（平野、阿見、柳原 + 八田理事のサポート）における検討に加えて、横山会長、宮本副会長、植松元会長との意見交換を踏まえて作成したものです。

1) 基本コンセプト

OB 会費徴収の目的は、主に、会員への慶弔金、事務局運営、会員間の交流促進などに充当するためである。

- ▶ 総会会場費や懇親会費、地域懇親会補助金などは、原則として、会社からの補助金（寄付金）を充当する。これは OB 会発足当時から継続し会員に広く受けいれられている運用を継続するものである。
- ▶ 会員数の減少等により会社からの補助金（寄付金）が減少した場合、補助金（寄付金）だけではこれらの経費を賄えない状況が想定される。この場合は先ず支出全体（総会、懇親会費等を含む）の見直しによる節約を図るなど支出の優先順位を考慮した上で、OB 会費あるいは繰越金から充当することもあり得る。

2) OB 会繰越金(OB 会会計残高)について

現在の OB 会員構成（593 人）による試算では、2019 年慶弔金支出実績が 21 万円であるが、2021 年からの 10 年間平均では毎年 45 万円ピーク時の 2029 年には 64 万円の支出となる。この状況を踏まえて、繰越金は、慶弔金支払いを保障するための財源として確保する。また、会社からの補助金（寄付金）と総会等の費用支出にはタイミングのズレがあること、事情により OB 会費を徴収できないことも考えられることから、一年間程度の支出（250~300 万円）を賄える繰越金は必要と思われる。

3) 財務チーム（仮称）の設置 - 将来の OB 会財源予測と 5 年毎の見直し実施について

将来の財源は、入会者数により大きく変動する。これまでの右肩上がりの増加を前提にはせず、継続して入会者増加の努力を行いつつ 5 年毎に過去の入会者実績と今後の入会者予測に基づき、その後の 5 年間の支出予算指針(支出枠)を見直しすることで OB 会の長期間安定運営を図る。

(OB会会員数予測) 単位：人

入会者	2021年	2031年	2041年
毎年10名	593	525	361
毎年20名	593	635	564

(OB会収入予測) 単位：万円

入会者	2021年			2031年			2041年		
	会社補助	OB会費	合計	会社補助	OB会費	合計	会社補助	OB会費	合計
毎年10名	178	119	297	158	103	261	108	66	174
毎年20名	178	119	297	191	125	316	169	107	276

*現状通り、89以上OB会費免除による計算

4) 81歳以降のOB会費免除、60歳未満のOB会費免除 (会員の意見を聞いてみる)

OB会の財源を考えると現状の「89歳以降免除」維持が望ましいものの、60歳加入としてOB会費を20年間納入(総額4万円支払、慶弔金受け取り2~3万円)にて十分という判断から、現状の89歳以降免除から、81歳以降免除に変更する。

また、なるべく早い時期でのOB会への加入による会員数維持・増加を図るため、60歳未満の会員はOB会費免除とする。

(OB会収入予測) 単位：万円

入会者	2021年			2031年			2041年		
	会社補助	OB会費	合計	会社補助	OB会費	合計	会社補助	OB会費	合計
毎年10名	178	119	297	158	79	237	108	46	154
毎年20名	178	119	297	191	101	292	169	87	256

*81歳以上OB会費免除による計算

*89歳からOB会費免除と比べると2031年で10人20人とも、24万円の収入減少見込み。

*60歳未満人数は現在31名なので、約6万円の収入減少となる。

5) 弔慰金・供花の廃止 (会員の意見を聞いてみる)

逝去の連絡がないことが増えていること、また、会員でいる期間内によりメリットを感じていただくべきとの考えから、弔慰金・供花を廃止し、代わりに新規のお祝い制度を追加する。なお、訃報の連絡があった時は、弔電を送り弔意を表す。また、喜寿、米寿、白寿のお祝いは、現行会則通りの運用とする。

追加お祝い制度の例)

- 喜寿（77歳）のお祝いとして、お祝い金に加え記念品的な品物を贈る
- 傘寿（80歳）のお祝いを新設し、お祝い金あるいは記念品を送り、翌年度以降のOB会費を免除する

6) その他

- 2021年10月の総会&懇親会について、コロナ禍の影響により、これが中止となる場合には、2022年度OB会費を徴収しない方針とする。
- AIG損保発足により将来のAIUOB会はどうなるのかとの質問が予想されるが、AIUよりAIG損保勤務の長い退職者やAIGプロパー社員を広く受け入れる態勢を整える方向で継続してAIUOB会のあり方を検討する。

添付： 試算結果要約